スポーツと見失うもの

1. チーム場面における動機づけ
* スポーツ活動は，内発的動機づけがないと続かない．
* でも，スポーツの実践場面においては，内発的動機づけを損なう側面がある
	+ 最初は好きで始めたスポーツが，上達するにつれて「勝ちたい」という気持ちが芽生え，「勝つため」にやるようになっていく．
	+ 勝ち続けると，「勝たなければいけない」と思ってしまう．

⇒　スポーツに対する自身の内発的動機を「わすれている」状態になっているのかもしれない．

1. 古きよき時代？
* スポーツをしていく中で，忘れていくもの．．．
	+ 初心　（動機づけ）
	+ 遊びとスポーツ　（ルール）
	+ トレーニング効果
	+ 上手く行かない時
	+ 上手く行った感覚（悲しいかな，悪い感覚はしつこく残る）
* 現代トレーニングにおける科学の発展とうしなったもの
	+ 効率的・合理的トレーニングの発展の裏に．．．
		- 目に見える身体的な強さを得る半面，「こころの脆さ」が浮き彫りに
		- こころと身体の乖離（数値で捉える身体→実感・身体性の欠如）
* 甲子園で優勝した指導者の悩み
* 優勝したことで，有能感や効力感を得るし，練習方法や理論・知識も豊富なり，自身も深まる．
* しかしながら，優勝したことで失うものもある．
* 新たに得たために，失ったために，「優勝した時と同じように」できなくなってしまい，『余計なこと』をしてしまっているのかもしれない．
* 社会もスポーツも，発展していくにつれて様々なものが付加されていく．
	+ 付加されるものが多くなるにつれて，見失っていくものがある．一方で．．．
	+ 付加されるものが多くなっても，残っているものがある！

⇒“残ったもの”こそ大事なもの！

1. 「天空の城ラピュタ」と“残ったもの”
2. あらすじ
* “ラピュタ”という空飛ぶ島を巡る冒険の物語
* 主人公のパズーは，亡き父が発見した“ラピュタ”を見つけることが夢．
* ある日，空から落ちてくるシータ（ラピュタ族の子孫）と出会う．シータは自身が持つ“飛行石”を巡って，海賊や軍隊に追われていた．
* パズーは海賊と軍隊に追われるシータを助け，共に逃げたが，シータは軍隊に捕まってしまい，パズーとシータは離ればなれになってしまう．
* パズーは，海賊ドーラ一家とともに，シータを救出することに成功する．
* しかし，ラピュタの位置を指し示す飛行石はムスカの手に渡り，彼は軍とともにラピュタに出発する．
* パズーとシータは，ラピュタを探すために，海賊ドーラ一家の仲間になり，ラピュタ探しの旅にでる．
1. 「ラピュタ」の世界背景
* 一度，高度に文明が発展し，発展しすぎたために滅びた後の世界

⇒　『ラピュタ』が描いているのは，一度滅びても“残っているもの”，すなわち，人々にとって“大切な風景”，“忘れてはいけないもの”ではないか？

1. テレビ放映回数17回（2020年現在）
	* 人々が無意識に大事にしている“風景”を『ラピュタ』が描いているから？⇒　では，それはどんな“風景”なのか？
	* 我々が忘れている色々な意味での“自然”を表現している？

高度に発展した文明が滅びて，なおかつ残っている文明　⇒“自然”なもの

* + 『ラピュタ』は当初，少年少女向けの物語を想定していたらしい．でも，色々な世代に好まれる物語になった．⇒　冒険とは，夢を追うこと！
	+ 昨今のスポーツは，技術・知識が発展し，練習が効率的になり，競技も高度になっていく．

⇒　その代わりに失っているものは？優勝を果たした指導者が失うもの？

* + パズーとシータが，“冒険”を突き進むことができたエネルギーとは？

⇒　パズーとシータが失わなかったものとは？

1. ラピュタ国はなぜ滅んだのか？
	* シータの言葉：「土に根をおろし，風と共に生きよう．種と共に冬を越え，鳥と共に春を歌おう」「どんなに恐ろしい武器を持っても，沢山の可哀想なロボットを操っても，土から離れては生きられないのよ」
	* ラピュタ科学の元は自然．でも，いつの間にか“自然”を見失ってしまっていた．そして，“自然”の大切さに気づき，地上に降りた．

⇒　スポーツの世界における，“自然”“土”とは？

1. 夢を追う“冒険”
* “夢を追う冒険”は，人々にとって原風景の一つなのかも？
	+ 「空を飛ぶ」「甲子園を目指す」ことは，人々の根本的な動機づけ
	+ 最初は，純粋に甲子園を目指すが，そのために，練習効率を高め，選手をコマのように扱ってしまう．さらには，夢を達成したらしたで，様々なプレッシャーに苛まれる．
	+ 挙げ句の果てに，夢ではなく，結果を追い求めてしまう．

⇒　夢を追う冒険では，当初の大事な想いを見失ってしまうことがある．

⇒　でも，夢を追うことは，誰もがもっている大事は“風景”

1. パズーとシータが失わなかったものと主題歌の歌詞

【父さんが残した　熱い想い　母さんがくれた　あのまなざし】

1. パズー：「きっと僕がラピュタを見つけてみせる！」

純粋な想い．その想いに向かって純粋にむかっていく想い

⇒　父親の“ラピュタへの想い”や“空への想い”にパズーは幼いころから接していたのでは？

* 父親からのメッセージで子に残るのは，言葉や技術ではなく，“熱い想い”なのでは？
* 指導者でも同じ．指導者が選手に伝えることは，知識や技術も大事だが，競技や動きなどの学びに対する“熱い想い”ではないか！
1. シータ：自分の運命に向き合い，バルスと唱えることができた力の源は？
	1. 祖母のおまじない
	2. 母の言葉：「けっして人に渡したり，見せたりしちゃいけないって」（ラピュタの存在は伝えずに）
	3. 家族が残してくれた家や田，牛

⇒言葉ではなく，いわゆる母親からの“まなざし” ドーラの存在も，“母のまなざし”

1. ムスカとシータの違い
* 同じラピュタ族なのに，伝えられたものが異なる．
* シータ：おまじないと石だけで，ラピュタの存在は伝えられていない
* ムスカ：ラピュタの価値を，科学・技術としてだけ伝えられていたのかもしれない．⇒　熱い想いもまなざしもない
1. 指導するにあたって（まとめにかえて）
* 父親や母親から与えられるものは数多くある．
	+ でも，残念ながらその中には子の足を引っ張ってしまう余計なメッセージとなるものもある．
* しかしながら，そういった余計なメッセージが滅びて，最後に残るものは，“熱い想い”と“まなざし”！
* 指導する上で，色々な理論があり，技術がある．でも，最後に残るのは，“熱い想い”と“まなざし”
	+ 純粋な想いを純粋に追い続けるための“熱い想い”
	+ 困難に向き合う力の源となる“まなざし”

７．最後に

* 『君をのせて』の“君”は何をさすのか？
	+ 国語の題材としても取り上げられている
	+ “君”＝シータ　では，つまらない．

あの地平線　輝くのは　どこかに君を隠しているから　たくさんの灯がなつかしいのは

あのどれかひとつに　君がいるから

さあ，でかけよう　ひときれのパン　ナイフ　ランプ　かばんに詰め込んで

父さんが残した　熱い想い　母さんがくれた　あのまなざし

地球はまわる　君を隠して　輝く瞳　きらめく灯　地球はまわる　君をのせて

いつかきっと出会う　ぼくらをのせて